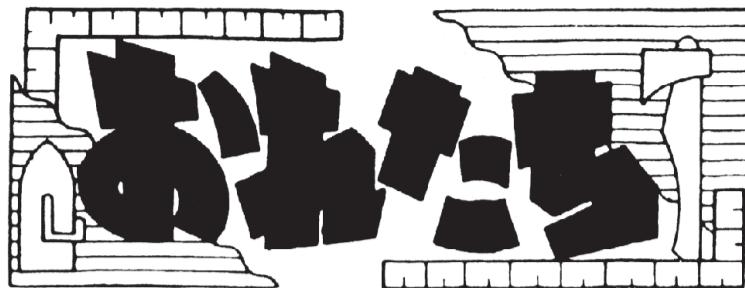


無料法律相談日の案内

2月20日(金)14時~16時

希望者は前日までに予約を

1月当初組合員数=1793人(-1人)



発行所

東京土建一般労働組合荒川支部

東京都荒川区荒川6-3-1

TEL(3892)9131 FAX(3892)9381

発行者・津田宗久/編集長・小熊賢一

<http://www.doken-arakawa.org/>

撮影

分会吉田敬子 解説2面に

建設産業に於いては第三次扱い手3法の本格運用や建設キャリアアップシステムの運用促進、賃上げの実現する大きな流れが生まれました。しかし様々な問題も課題を残したままです。

アスベスト問題では建材メーカーとの歴史的な和解が結ばれましたが取り残された仲間も居ます。屋外工や解体工含めて全面救済の運動も引き続き全力で取り組まなくてはなりません。

4月には四号特例の縮小によりリフォーム工事に関しては混乱や仕事確保が難しく困っている仲間も沢山居ました。

また一年中拡大行動に取り組んで来ましたが組織の実増は出来ませんでした。

少子高齢化社会の中でもまだまだ未加入者は居ると思われます。

組織数の減少は労働運動の活動家減少にも直結する問題です。新しい役員の発掘と育成、継承は最重点課題です。

9年前委員長に就任の際人づくり元年と決意を述べさせて頂きました。が今の現状に自分の無力さを痛感致します。

荒川支部では役員不足により専門部会も安定的な運営活動が出来ていません。

活動が停滞すると言うことは我々建設労働者の待遇改善や賃上げ運動の後退に繋がりますし、組織数の減少は要求実現、請求運動にも影響を与えます。

労働組合は一人一人の小さな力を合わせて大きな力に変えてゆくものでです。

仕事や家庭、プライベート等何かとお忙しとは思いますが出来るごと、参加できる取り組みには是非ご協力をお願いしたいと思います。

また活動参加する中で多くの仲間が出来るし、学習会や活動することで仕事や生活にも生かせる物も沢山有ります。

今年は荒川支部としても沢山の課題も有りますし建設産業を取り巻く諸課題も有ります。

皆の力を合わせて我々一人のために、建設産業で働くすべての人の為に今年も奮闘していきましょう。私も微力ながら皆さんのがんばりで活動していく決意です。

一緒に頑張って行きましょう。



新たな飛躍を

津田宗久執行委員長

新年明けましておめでとう、「さいます。今年も沢山の仲間と共に新しい年を迎えられ嬉しく思います。

昨年は組織拡大行動や共済推進活動、住宅デー、区民祭り、仕事掘り起こしの運動等様々な取り組みにご奮闘頂き有り難う御座いました。

建設産業に於いては第三次扱い手3法の本格運用や建設キャリアアップシステムの運用促進、賃上げの実現する大きな流れが生まれました。しかし様々な問題も課題を残したままです。

アスベスト問題では建材メーカーとの歴史的な和解が結ばれましたが取り残された仲間も居ます。屋外工や解体工含めて全面救済の運動も引き続き全力で取り組まなくてはなりません。

4月には四号特例の縮小によりリフォーム工事に関しては混乱や仕事確保が難しく困っている仲間も沢山居ました。

また一年中拡大行動に取り組んで来ましたが組織の実増は出来ませんでした。

少子高齢化社会の中でもまだまだ未加入者は居ると思われます。

組織数の減少は労働運動の活動家減少にも直結する問題です。新しい役員の発掘と育成、継承は最重点課題です。

9年前委員長に就任の際人づくり元年と決意を述べさせて頂きました。が今の現状に自分の無力さを痛感致します。

荒川支部では役員不足により専門部会も安定的な運営活動が出来ていません。

活動が停滞すると言うことは我々建設労働者の待遇改善や賃上げ運動の後退に繋がりますし、組織数の減少は要求実現、請求運動にも影響を与えます。

労働組合は一人一人の小さな力を合わせて大きな力に変えてゆくものでです。

仕事や家庭、プライベート等何かとお忙しとは思いますが出来るごと、参加できる取り組みには是非ご協力をお願いしたいと思います。

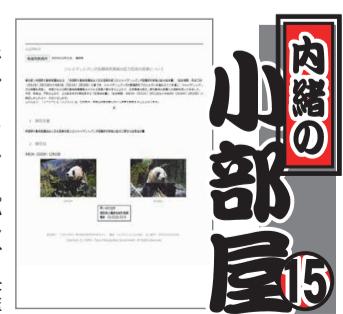
また活動参加する中で多くの仲間が出来るし、学習会や活動することで仕事や生活にも生かせる物も沢山有ります。

今年は荒川支部としても沢山の課題も有りますし建設産業を取り巻く諸課題も有ります。

皆の力を合わせて我々一人のために、建設産業で働くすべての人の為に今年も奮闘していきましょう。私も微力ながら皆さんのがんばりで活動していく決意です。

一緒に頑張って行きましょう。

▶ジャイアントパンダ保護
研究実施の協力協定の延長
について
出典／2020年12月11日
東京都建設局報道発表資料



方もいると思いますが、「卒」の筆者(以下私とする)の長寿の祝いは「卒寿」(そつじゅ)である。読者の中にはあまり聞きなれない



「朝令暮改」

1944年(昭和19年)、東京から父母の郷里に疎開をして、登校初日、目に入ったのは校舎の前に

者天皇の国家体制護持」であつた。

11時頃にもち米が蒸し上がり餅つきの開始です。

がんちゃん汁も出来上がり朝の寒さに体を温めるのに最高のご馳走になります。

【通信員 並木義男】
荒川分会恒例の餅つき会

子さん宅の駐車場で行いました。
前日に35キログラムの餅

米を研ぎ餅に絡める材料や

飲み物の買い出しの準備をしました。



前夜から降り出した雨は当日の朝まで

降り、雨の中での設営はテント二張、会場にブルーシートを敷きテープルを設置しました。

宇佐美分会長から雨が降る寒い朝から準備と今年の活動にお礼の挨拶をしました。参加者は分会21人ゲスト9人の30人でした。

雨もやみ代わる代わるつき手も代わり、来年は良い年にと賑やかに餅をついた。

略字は「卒」です。この字を分解すると「九」「十」となり即ち、90歳ということを表します。

また90年を単純に、月、日に換算すると1080か月であり、日数にすると、 $365 \times 90 = 3$ 万2850日(うるうもあり確かな日数ではない)となり、人間の感覚では驚くほど長い時間です。

私には確かに長い時空ですが、

その中で、特に子供の時の終戦で戸惑いながらも、時代の価値観の急激な変化を見てきました。私の体験の一例を紹介します。

戦前の教育の基本方針は「主権者天皇の国家体制護持」であつた。

1944年(昭和19年)、東京か

ら父母の郷里に疎開をして、登校

初日、目に入ったのは校舎の前に

「これぞ正に朝礼暮改」

(H)

毎年恒例餅つき会

荒川分会

コンロに火をつけて湯を沸かし臼と杵を準備して女性はんちゃん汁の支度と大忙し。

11時頃にもち米が蒸し上

がんちゃん汁も出来上がり

餅つきの開始です。

けんちゃん汁も出来上がり

朝の寒さに体を温めるのに最高のご馳走になります。

がんちゃん汁も出来上がり

餅つきの開始です。

がんちゃん汁も出来上がり



大きな旅 『和歌山県、那智勝浦』

【教宣部 小熊賢一】
今年も、那智勝浦にあ
る、ホテル浦島へ行つて
きました。

他にも、もう一つ玄武洞と言った洞窟温泉と室内の浴槽が三ヶ所あります。湯めぐりスタンプを集めると入浴剤がもらえますよ。

マグロの水揚げや熊野古道で知られてゐる那智勝浦へ心を癒し、身体の疲れを癒しに、ぜひ行ってみて欲しい。ちなみに、遠いから、連泊以上は必要です。

那智勝浦には、数多くの温泉宿がありますが、波の音を聴きながら、洞窟の中で、硫黄の香る濁り湯の温泉は、ここ浦島だけと言ふことです。私は、日本を代表する温泉の一つだと思っています。

【教宣部 小熊賢一】

きんぴらとおでん
町屋南分会 薄井由美子

りかけて完成です。
ぜひ、お試しくださ
失礼いたします。

小さな旅 『さいたま・小春日和』



【教宣部 小路芳雄】
今回は、さいたま市の温泉の紹介です。
生まれも育ちも埼玉県練

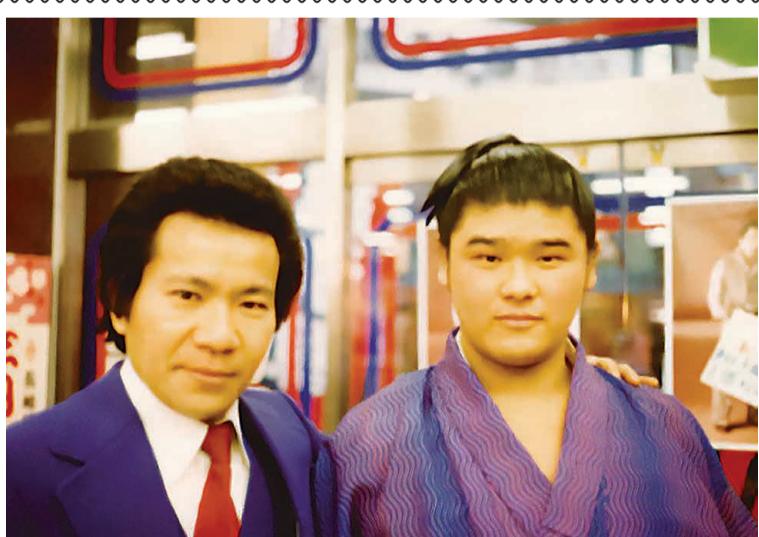
次に、フライパンにごま油を熱し、ごぼうを入れて軽く炒めます。その後、にんじんを加え、さらに炒め続けます。

んぴらごぼうの美味しい作り方をご紹介いたします。

まず、材料としてごぼうとにんじん、そしてごま油などを用意しましょう。ごぼうは皮をむいて細切りにし、にんじんも同様に細切りにします。

私のすもう体験記

第一回



歌手の大川栄策氏と



社長の乙津さんが立浪部屋の追手風親方と友だちで、おじさんが話を立て、堀井ビル3階までやってきて、立浪部屋に入るところになり、私もどうとうございました。

私は、昭和50年大阪場所の宿舎になる大宝寺の立浪部屋に入門しました。でも私にとって相撲部屋は、とても怖くて大阪に向かう前に熱を出して1日遅れで宿舎に着き、1日目は、お客様あつからいでも明日からは違うぞと、一緒にちゃんとを食べて、いた関取が言いい、その後母とお別れしました。

相撲部屋は、軍隊より厳しいところだと家に長く勤めていた職人さんが言うので辞めたいと心か

【堀井龍二（通信員）】私は、昭和50年大阪場所の宿舎になる大宝寺の立浪部屋に入門しました。でも私にとつて相撲部屋は、とても怖くて大阪に向かう前に熱を出して1日遅れで宿舎に着き、1日目は、お客様あつかいでも明日からは違うぞと、一緒にちやんこを食べていた関取が言いい、その後母とお別れしました。

相撲部屋は、軍隊より厳しいところだと家に長く勤めていた職人さんが言うので辞めたいと心か

らそう思つたのですが、もう話が決まっていて、その職人さんとお別れするときセイコーの腕時計をプレゼントしてもらひ、泣く泣く大阪の宿舎に着き、食事の後、兄弟子の松倉さんが自分の寝るところを教えてもらひ、次の朝は大宝寺の裏庭に土俵が設置されており、そこで初めて回しを腰に巻きました。

て、そのうち大阪府立体育馆・大阪場所まで歩いていきました。前相撲では三番出世で、二番出世なら間に合つたけど中学の卒業式には出られず、今でも中学中退と皆に言つています。その後に卒業アルバムが出来て、兄弟子のみんなに見せたら、兄弟子の鳴川（なるかわ）さんが「卒業アルバムにおまえの顔写真が載っていないぞ、もしあまえが横綱になつたら学校側は、大変